

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本語表現
科目基礎情報						
科目番号	81001			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	経営情報工学専攻			対象学年	専1	
開設期	4th-Q			週時間数	4	
教科書/教材	阿部紘久『文章力の基本100題』（光文社新書）					
担当教員	畑村 学					
到達目標						
①語彙力・表現力を高めることができる。 ②文の基本的な型を習得することができる。 ③論理的な文章を作成することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	ことばに関心を抱き、自主的に語彙力・表現力を高めることができる。	自主的に語彙力・表現力を高めることができる。	語彙力・表現力を高めることができる。	語彙力・表現力を高めることができない。		
評価項目2	文の基本的な型をふまえて、表現したいことを明確な文や短文にすることができる。	文の基本的な型をふまえて、明快な文を書くことができる。	文の基本的な型を習得することができる。	文の基本的な型を習得することができない。		
評価項目3	文の基本的な型をふまえて、論理的な文章を作成することができる。	文の基本的な型をふまえた文章を作成することができる。	文章を作成することができる。	文章を作成することができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	第4学期開講。 日本語表現力を育む。具体的には「使用語彙を豊かにする」「わかりやすく読み手に伝わりやすい文を書く」「論理的な文章を作成する」である。					
授業の進め方・方法	①語彙力・表現力を高めるための練習問題に取り組む。 ②文の基本的な型を習得するための演習問題に取り組む。 ③論理的な文章を作成するために、推敲・添削の作業をする。 なお、この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として「演習問題」と「レポート」を課す。					
注意点	・小テストと定期試験は、国語の常識問題である。 ・レポートは締切厳守。締切を過ぎたものは受けつけない。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	4thQ	9週	ガイダンス 語彙力・表現力問題 作文①②	語彙力・表現力を高めることができる。 伝わりやすく書くための方法を理解することができる。		
		10週	語彙力・表現力問題 文の基本的な型①②	語彙力・表現力を高めることができる。 伝わりやすく書くための方法を理解することができる。		
		11週	語彙力・表現力問題 文の基本的な型③④	語彙力・表現力を高めることができる。 伝わりやすく書くための方法を理解することができる。		
		12週	語彙力・表現力問題 文の基本的な型⑤⑥	語彙力・表現力を高めることができる。 伝わりやすく書くための方法を理解することができる。		
		13週	語彙力・表現力問題 文章作成①	語彙力・表現力を高めることができる。 論理的な文章を作成することができる。		
		14週	語彙力・表現力問題 文章作成②③	語彙力・表現力を高めることができる。 論理的な文章を作成することができる。		
		15週	語彙力・表現力問題 文章作成④⑤	語彙力・表現力を高めることができる。 論理的な文章を作成することができる。		
		16週	定期試験 試験返却・解説	学習の総まとめをすることができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル 授業週
評価割合						
	試験	レポート	小テスト	口頭発表	合計	
総合評価割合	10	70	10	10	100	
知識の基本的な理解	10	40	10	5	65	
思考・推論・創造への適用力	0	20	0	5	25	
汎用的技能	0	10	0	0	10	